

NICT JLE vs. JEFLL: n -gram を用いた語彙・品詞使用の発達

投野由紀夫

2008
英語コーパス研究 第15号 抜刷
英 語 コ 一 パ ス 學 会

NICT JLE vs. JEFLL: *n*-gram を用いた 語彙・品詞使用の発達

投野由紀夫¹

1. はじめに

本論では2つの学習者コーパス、 NICT JLE および JEFLL の全般的な特徴を把握するために、 *n*-gram 分析を通じた語彙・品詞使用の発達傾向を概観する。まず各コーパスの大まかな設計基準を解説し、 続いて単語 *n*-gram の全体傾向、特に *n*-gram 比較で顕著だった言語特徴、そして品詞 *n*-gram の全体傾向と特徴的なパターンに関してまとめる。

2. 分析対象のコーパス

2.1 NICT JLE Corpus

NICT JLE Corpus は、アルクが開発した英会話能力試験 Standard Speaking Test (SST) を書き起こした話し言葉コーパスである。SST は15分間の口頭能力インタビューテスト (Oral Proficiency Interview : 以下 OPI) で、世界的に普及している ACTFL OPI に準拠し、日本人英語学習者用に開発されたものである。テストは前後のウォームアップ、ワインドダウンを除くと、イラスト描写、ロールプレイ、ストーリー作りの3つのタスクがメインになっており、15分の面接の後、2名の訓練された判定者により、9段階のレベル判定がなされる。

NICT JLE Corpus はこのアルクに所蔵されていた膨大なインタビュー音源を情報通信機構（NICT）がアルクと共同で書き起こしたもので、1281名分の書き起こしデータを含んでいる。全体のコーパスのサイズは約200万語。各被験者のデータには SST レベル (1~9) が付与されているので、会話能力と実際のインタビュー内容をコーパス分析して、語彙・文法などの特徴とレベルの関係などを研究するのに有益なデータとなっている。詳細は和泉他 (2004)、さらに通信総研 (NICT の前身) の報告書などを参照されたい。

2.2 JEFLL Corpus

JEFLL Corpus は、日本人英語学習者（中学 1 年生～高校 3 年生）約 1 万人を対象に自由英作文データを書かせたものをコーパス化したものである。6 種類の英作文タスク（叙述文・論説文各 3 種類）から 1 種類を選択して、授業時間内で 20 分間、辞書なしで書かせる。タスク、学年、学校種、学校レベル別にデータを検索でき、サイズは 2007 年 9 月現在で約 70 万語である。JEFLL Corpus はインターネット上で web 検索の形で公開されており、² JEFLL 全体の情報も研究用ホームページで公開されている。³

3. 分析方法

2 つのコーパスのレベル別の語彙・品詞の全般的傾向を見るために、n-gram 分析を行った。分析上、問題となると思われる点を中心に下記のような前処理を施した：

- (a) JEFLL に関しては、日本語部分は #JP# というタグに置き換えて 1 まとまりとした。
- (b) NICT JLE については (被験者) のみの発話に限定し、Filler は #F#、JP は #JP# とした。
- (c) 品詞の n-gram を得るために、CLAWS で品詞タグを付与。タグ修正などは一切行わなかった。

N-gram 抽出については、Michael Barlow 氏の開発したコロケーション分析ソフト Collocate を使用した。

4. 結果(1)：単語 n-gram

4.1 単語 n-gram のヴァリエーション

まず、それぞれのコーパス全体における単語 n-gram の種類がどのように増えているかを見てみる。図 1、2 は JEFLL の結果である。図 1 を見ると、中学 1 年 (JH1) から高校 3 年 (SH3) まで、全体のコーパス・サイズの違いがあるので、かなりパターンにはらつきがあるよう見えるが、図 2 のようにそれぞれの学年における trigram (3 語の連鎖) の組み合わせの種類と全体の trigram 総数の比をとると、ほぼ学年を追うごとに伸びが観察される。図 2 に見られるような伸びは、学年を追うごとに、trigram に現れる単語の連鎖のヴァリエーションが豊富になっていることを示している。それだけ、定型表現を使いつつも、生産的な表現を多くするようになっている証拠ではないかと思われる。

一方、同様の分析を話し言葉に対して行ってみると、図 3、4 のようになる。図 3 はやはりレベル別のコーパス・サイズの影響を受けてレベル 4、5 を中心に特に多くなっているが、図 4 の trigram のヴァリエーションと総頻度の割合

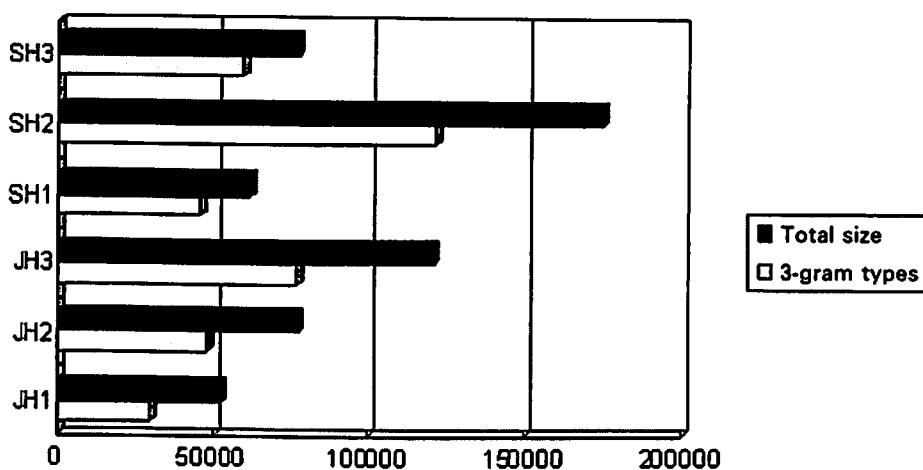


図1 JEFLLにおける学年ごとの trigram の総量と種類の変化

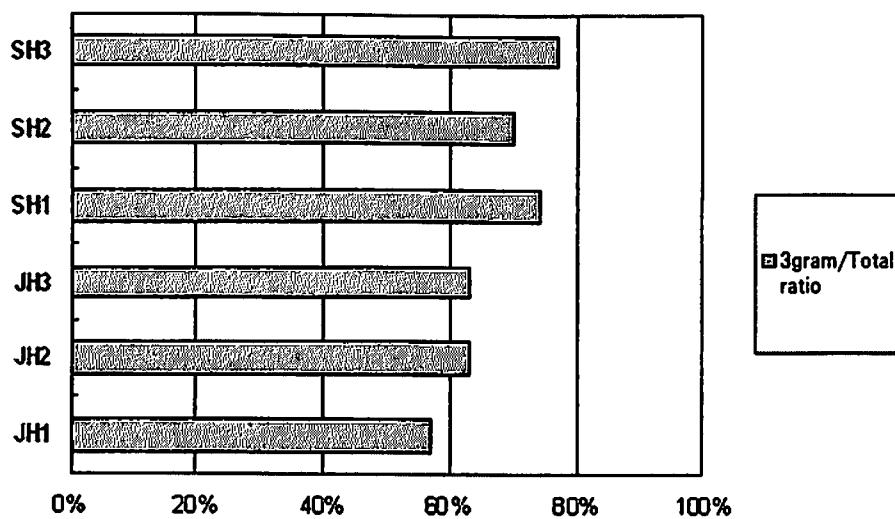


図2 JEFLLにおける Trigram の種類と総量の割合の変化

を見ると、レベル3, 4を境目にレベル9まで伸びを示している。レベル1の割合が極めて高いのは日本語(#JP#)の含まれた trigram が頻出しているからで、これはレベル3くらいまでに大部分が消滅する。そのために中間レベルで割合は低くなるが、そこからレベルが上がるに連れて trigram のパターンも豊富になる。

4.2 Filler

表1は NICT JLE Corpus における filler を含む trigram 連鎖がレベルを経て消失していく様子を示したものである。表1では、図の左側から右側に向かっ

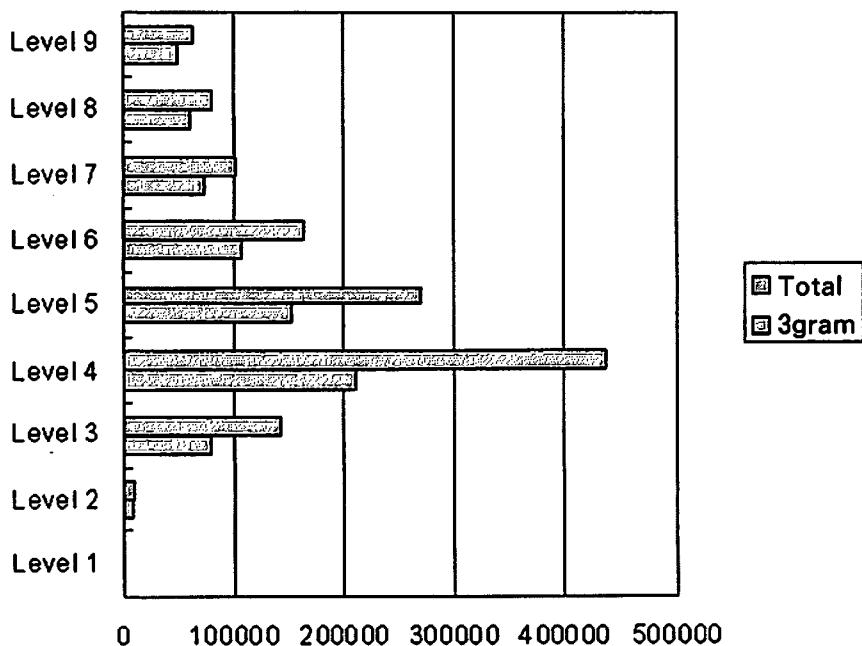


図3 NICT JLE Corpusにおけるレベルごとの trigram の変化

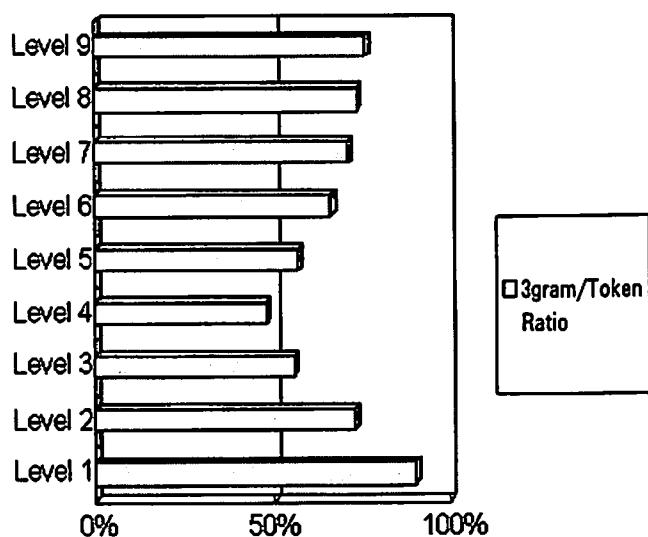


図4 NICT JLE Corpusにおける trigram 種類と総数の割合の変化

て SST レベルが上がるに従って、filler を含んだ網掛けのパターンの数が減少していることがわかる。これは filler を含むいわゆる言いよどみ (dysfluency) の現象が、レベルが上がるに連れて解消されていることを示している。

表1 Fillerを含む trigram (網掛け部分) のレベルごとの推移

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	Level 7	Level 8	Level 9
Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq	Freq Seq
64 ⑩JPB .	617 ⑩JPB .	4124 ⑩JPB .	8362 ⑩JPB .	3750 ⑩JPB .	1868 ⑩JPB .	1157 ⑩JPB .	603 ⑩JPB .	382 ⑩JPB .
21 ⑩JPB ⑩JPB	305 ⑩JPB ⑩JPB	1585 ⑩JPB .	3572 ⑩JPB .	1978 ⑩JPB .	1031 ⑩JPB .	559 ⑩JPB .	440 ⑩JPB .	254 I do n't
21. Yes .	192. Yes .	1536 ⑩JPB ⑩JPB	2669 ⑩JPB .	1372 ⑩JPB .	674 ⑩JPB .	386 ⑩JPB .	264 you know ,	251 Yeah .
19. ⑩JPB .	180. ⑩JPB ⑩JPB	1385 ⑩JPB ⑩JPB	2603 ⑩JPB ⑩JPB	1013 ⑩JPB ⑩JPB	496 ⑩JPB ⑩JPB	363 I do n't	261. And ⑩JPB	230. ⑩JPB I
13. ⑩JPB ⑩JPB	90. Yeah .	930 ⑩JPB ⑩JPB	2552 ⑩JPB ⑩JPB	998 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	495 I do n't	310. And ⑩JPB	259 I do n't	198. Yes .
11. Yes . ⑩JPB	89. ⑩JPB .	823 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	2334 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	963 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	451 O K.	278 you know ,	242. Yes .	167. O K.
10. ⑩JPB ⑩JPB	84. Yes . ⑩JPB	823. Yeah .	1931 ⑩JPB ⑩JPB ⑩JPB	833. ⑩JPB ⑩JPB	380 ⑩JPB . ⑩JPB	252. O K.	216. O K.	163. And ⑩JPB
9. ⑩JPB ⑩JPB	80. ⑩JPB ⑩JPB	711 ⑩JPB . ⑩JPB	1871 ⑩JPB ⑩JPB	740 ⑩JPB . ⑩JPB	351 you know ,	246. ⑩JPB I	188. ⑩JPB I	138. And I
7. ⑩JPB ⑩JPB	64. ⑩JPB ⑩JPB	651 ⑩JPB ⑩JPB	1623 ⑩JPB . ⑩JPB	656 ⑩JPB ⑩JPB	334 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	238. So I	186. you know	134. ⑩JPB ⑩JPB
5. ⑩JPB ⑩JPB	61. ⑩JPB ⑩JPB	640 ⑩JPB ⑩JPB	1555. And ⑩JPB	651 O K.	324. ⑩JPB ⑩JPB	232 ⑩JPB . ⑩JPB	183. So I	134. So I
S ⑩JPB . ⑩JPB	55 ⑩JPB . ⑩JPB	566 ⑩JPB ⑩JPB	1376 ⑩JPB I	609. ⑩JPB I	295. ⑩JPB I	212. ⑩JPB ⑩JPB	166. And I	104 ⑩JPB . ⑩JPB
5. ⑩JPB . ⑩JPB	51. ⑩JPB ⑩JPB	526. ⑩JPB I	1355 ⑩JPB ⑩JPB	598. Thank you	285. Thank you	200. And I	157. ⑩JPB ⑩JPB	98 you know ,
4. ⑩JPB . ⑩JPB	49 ⑩JPB . ⑩JPB	524 ⑩JPB . ⑩JPB	1131 ⑩JPB ⑩JPB	567 I do n't	280. So I	179. Thank you	150 ⑩JPB . ⑩JPB	97 do n't know
4. ⑩JPB . ⑩JPB	49 ⑩JPB . ⑩JPB	486 ⑩JPB . ⑩JPB	1045. Thank you	527 ⑩JPB ⑩JPB	267 Yeah . ⑩JPB	161. you know	135. Thank you	88. And then
4. ⑩JPB . ⑩JPB	49 Yeah . ⑩JPB	489 Yeah . ⑩JPB	448. Thank you	1043 I do n't	513. So,	246 Yes . ⑩JPB	159 ⑩JPB . I	110 Yeah . ⑩JPB
4. Yes . Yes	44 ⑩JPB ⑩JPB	394 ⑩JPB ⑩JPB	1007 Yeah . ⑩JPB	476. So I	245. So,	158. It 's	109. But ⑩JPB	81. Thank you
3. ⑩JPB ⑩JPB ⑩JPB	44. ⑩JPB .	393 ⑩JPB ⑩JPB	1002 ⑩JPB ⑩JPB	469. So ⑩JPB	241. But ⑩JPB	149 I have to	109 O K. ⑩JPB	78. But ⑩JPB
3. ⑩JPB . ⑩JPB	43 ⑩JPB . ⑩JPB	375 Yeah . ⑩JPB	988. O K.	424 Yeah . ⑩JPB	228 O K. ⑩JPB	143. But ⑩JPB	106 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	78 Yes . ⑩JPB
3. ⑩JPB . ⑩JPB	43. No .	346 Thank you .	944 I want to	420 ⑩JPB ⑩JPB I	206. It 's	143 do n't know	105 ⑩JPB it 'd	74. I think
3. ⑩JPB ⑩JPB	40. O K.	341 ⑩JPB ⑩JPB	921 ⑩JPB ⑩JPB	411. ⑩JPB ⑩JPB	200 ⑩JPB . I	141 Yes . ⑩JPB	102. I 'm	70 ⑩JPB it 's
3. ⑩JPB ⑩JPB	40 Thank you .	328. And ⑩JPB	910 ⑩JPB . ⑩JPB	397 O K. ⑩JPB	196. And I	140 Yeah . ⑩JPB	96. So ⑩JPB	70 Yeah . ⑩JPB
3. Thank you	39 ⑩JPB . ⑩JPB	326 ⑩JPB ⑩SCB	879. So ⑩JPB	388 ⑩JPB ⑩JPB	191. Yeah .	138 O K. ⑩JPB	96 do n't know	69. Mh-hmm .
3. Yeah .	35 ⑩JPB . ⑩JPB	324 ⑩JPB ⑩JPB	844 ⑩SCB ⑩JPB	381 Thank you .	189. I 'm	120. I 'm	95. Mh-hmm .	68. you know
3. Thank you .	35 ⑩JPB . ⑩JPB	324 I do n't	816 Thank you .	371 I want to	185 I have to	116 Thank you .	94. It 's	68 do n't have
3 Yes . ⑩JPB	35. ⑩JPB I	321 ⑩SCB ⑩JPB	805 ⑩JPB ⑩JPB	373 very much .	184. ⑩JPB I	112 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	89 Thank you .	67 a lot of
3 old . ⑩JPB	35. Thank you	321 I want to	781 ⑩SCB ⑩JPB	360. But ⑩JPB	182 ⑩JPB ⑩JPB	111. So,	85 I have to	65. I 'm
2 ⑩JPB ⑩JPB ⑩JPB	34 ⑩JPB . ⑩JPB	316. O K.	780 ⑩JPB ⑩JPB	342 ⑩JPB . I	182 Thank you .	109. And .	82. And then	65 O K. ⑩JPB
2 ⑩JPB . ⑩JPB ⑩JPB	33 ⑩JPB yeah .	313. ⑩SCB ⑩JPB	779 ⑩JPB . ⑩JPB	338. ⑩JPB ⑩SCB	182 very much .	109. So ⑩JPB	81. ⑩JPB I	65 Thank you .
2 ⑩JPB . ⑩JPB ⑩JPB	32. ⑩JPB I	301 ⑩JPB ⑩JPB	734 ⑩JPB . I	335 ⑩JPB ⑩JPB	181 ⑩JPB ⑩JPB	107. Yes .	80 Yes . ⑩JPB	62. So ⑩JPB
2 ⑩JPB . ⑩JPB .	30 ⑩JPB ⑩JPB	291 ⑩JPB . ⑩JPB	730 O K. ⑩JPB	335. ⑩JPB . I	173 ⑩JPB I 'm	106 ⑩JPB ⑩JPB	76 ⑩JPB . I	61 O K.
2 ⑩JPB . This .	29 I do n't	290 ⑩JPB ⑩JPB	713 ⑩JPB ⑩JPB	333. ⑩SCB ⑩JPB	173 do n't know	104. I think	74. And the	59 ⑩JPB I do
2 ⑩JPB . Where	28 My name is	282 ⑩JPB . I	709. ⑩JPB ⑩SCB	323 ⑩SCB ⑩JPB	171. Yes .	101 ⑩JPB it 'd	73. it 's	59. But I
2 ⑩JPB . XXX03	28 name is XXX03	274. ⑩JPB I	655. ⑩JPB ⑩JPB	318 Yes . Yes	168. So ⑩JPB	99 very much .	72 a lot of	57 ⑩JPB I think
2 ⑩JPB . ⑩JPB ⑩JPB	27 ⑩JPB . I	269 ⑩JPB . Yes	652. ⑩SCB ⑩JPB	312 ⑩SCB ⑩JPB	164. ⑩SCB ⑩JPB	97. But I	71 very much .	55 ⑩JPB ⑩JPB I
2 ⑩JPB . ⑩JPB .	26 ⑩JPB . ⑩JPB	257 Yes . Yes	640 ⑩JPB . ⑩JPB	311 ⑩JPB ⑩JPB	162. you know	96. And ⑩SCB	70. I think	55 ⑩JPB I 'm
2 ⑩JPB No .	26 ⑩JPB . ⑩SCB	256 ⑩JPB . ⑩JPB	633. So	310 I have to	155 you very much	95 ⑩JPB . Yes	69. And ⑩SCB	55. Mm-hmm .
2 ⑩JPB Yes .	25. ⑩JPB ⑩SCB	255 ⑩SCB ⑩JPB	622 ⑩SCB ⑩JPB	308 ⑩JPB I 'm	153 ⑩JPB ⑩JPB	95 I did n't	69 I did n't	50. And the
2 ⑩JPB XXX03	25. My name	249 O K. ⑩JPB	570 Yes . Yes	303 ⑩SCB ⑩JPB	150. and ⑩JPB	94 ⑩JPB ⑩JPB	67. So .	49. And we
2. ⑩JPB Yes .	24 ⑩JPB . ⑩JPB	245 ⑩JPB ⑩JPB	567 ⑩JPB . Yes	302. It 'n	148 ⑩JPB ⑩JPB	94. And ⑩JPB	67 O K.	48. it 'n
2. ⑩JPB .	24 ⑩JPB .	241 ⑩JPB . ⑩JPB	566. ⑩JPB ⑩JPB	297 ⑩JPB . ⑩JPB	148 ⑩JPB . Yes	89 ⑩JPB I 'm	66 ⑩JPB I 'm	48. too .
2 Bent .	24 I go to	240 ⑩JPB ⑩JPB	565 ⑩JPB . ⑩JPB	296. ⑩JPB ⑩JPB	144. And ⑩SCB	87 do n't have	65 you very much	48. So .
2 Consulting .	24 Yes . Yes	240. ⑩JPB . ⑩JPB	564 very much .	292 ⑩JPB . ⑩JPB	141. And ,	85. So .	64 ⑩JPB ⑩JPB I	47 I have to
2. Do you .	23 ⑩JPB . ⑩SCB	225 ⑩JPB I like .	557 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB	283. ⑩JPB ⑩JPB	140 Yeah . Yeah	85 you very much	61 ⑩JPB ⑩JPB	46. I do
2. Friend .	23. ⑩JPB . ⑩JPB	221. ⑩JPB .	556. So I	277 you very much .	139 ⑩JPB I 'm	84. And then	61. Yes .	46. I do
2. No .	23 I live in .	213 ⑩JPB . ⑩JPB	554. And ⑩JPB	270. Uh-huh .	138 ⑩SCB ⑩JPB I	82. ⑩JPB ⑩SCB	60 I mean .	45. O K.
2. No .	23 O K. ⑩JPB	208 to XXX02 .	540 ⑩SCB ⑩JPB I	266 ⑩JPB I 'm	138 a lot of	81. I do	59. ⑩SCB ⑩JPB	45. Uh-huh .
2 Today .	23 yes . ⑩JPB	202 And ⑩JPB	531 ⑩JPB yes .	263 a lot of	137. And then	81. I do	59. ⑩SCB ⑩JPB	44 ⑩JPB ⑩SCB ⑩JPB
2 No . ⑩JPB .	22 ⑩JPB . ⑩JPB .	201 ⑩JPB . ⑩JPB	523. ⑩JPB I	262 to go to	134. I think	81. I do	59. But I	

4.3 モデル文からの解放

JEFL は作文タスクの指示文に、モデルとして簡単な英作文のサンプルを載せている。コーパス作成に当たり、このようなモデル文の影響がどの程度見られるかが注目された。太田（2007）の分析によると、4-gram 上位 10 位に現れるモデル文と同一構造のパターンの割合は中 1 では 9 割近くに上っているのに對し、その後 50%（中 2）、30%（中 3）、高校 1 年以上は 10% 以下、と着実に減少している。すなわち、中 1 の段階ではかなりの生徒がモデル文をもとに作文を書こうとしているが、中 2 以降ではモデル文そのままの表現を使って書く、という生徒は徐々に減少する。

4.4 動詞の時制

JEFL では中 1 では上位 100 の trigram 中、2 例しか過去形を含む連鎖が出現しないが、中 2 以降そのパターンの出現率が増加する。be 動詞が多いが、had や came, went, などの移動動詞も早い時期から過去形で使用される。教科書で指導をされた順序とコーパスの出現頻度の相関が比較的高い項目である。

一方、NICT JLE では、レベル 1~4 付近までは、基本動詞（be, have, want, go など）による短文の羅列が多いが、レベル 5 から上に過去形 had が出現する。

4.5 接続詞

接続詞は JEFL, NICT JLE ともに発達の重要な指標になる。談話マーカーの観点からは本シンポジウムの小林・山田が重点的に調査しているが、それ以外を概観しておく。

まず JEFL では文頭の but の多用が特に低学年に顕著である。中 1 では上位 100 位の trigram 中に 8 パターン見られる。それが中 2~3 年では 5, 6 パターン、高 1~3 では 2~3 パターンと半減していく。代わって、When I was ..., If there is a ..., If I don't have ... などの条件節を導く接続詞が学年を上がるに連れて頻度が高くなっていく。

NICT JLE の場合は、レベル 4 から so が、レベル 5, 6 から but, or などの等位接続詞の多用が観察される。レベル 7~9 では、I think that ... などの従属節を導く that の使用が顕著になる。

4.6 冠詞

冠詞の獲得は日本人にとって最も苦手な項目の 1 つである（Tono, 2000）。表 2-1, 2-2 は冠詞を含むパターンの出現推移を JEFL と NICT JLE で比較した図である。JEFL では the, a 共に比較的低学年から出現しているが、これらは学年が低いほど、in the morning とか a lot of のような定型パターンでの使用が顕著である。冠詞の用法は高校になると着実に増加していることがわかる。一方、NICT JLE の場合は、話し言葉であるため、冠詞の補充は一層少ない。全般

NICT JLE vs. JEFLL: n-gram を用いた
語彙・品詞使用の発達

125

表 2-1 Trigram における冠詞を含むパターンの出現推移 (JEFLL)

Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.
576	#JP# . I	426	So I	644	I do n't	224	I do n't	600	I do n't	235	I do n't
441	. I like	425	I do n't	528	So I	170	#JP# . I	450	I want to	188	I want to
417	. But I	408	#JP# . I	527	But I	166	. But I	348	. But I	166	. So I
405	I do n't	378	I will bring	425	#JP# . I	164	. So I	343	. So I	146	. But I
296	. So I	347	. But I	371	. I was	153	. I was	295	. It is	131	. It was
236	#JP# . #JP#	335	. I like	345	I will bring	147	I want to	291	I ca n't	126	. It is
208	I will bring	275	. I was	336	I want to	139	school festival .	281	. I think	122	in the morning
200	#JP# . But	255	. I will	327	. I like	130	. It was	274	. I was	118	and so on
195	in the morning	233	I want to	283	. I will	114	our school festiva	273	. When I	116	I ca n't
195	is #JP# .	217	in the morning	283	in the morning	112	Our class	269	. I like	106	. Our class
189	very much .	193	the morning	264	. And I	109	in the morning	239	a lot of	105	school festival .
176	the morning	170	very much .	263	I ca n't	103	a lot of	237	and so on	105	so on .
177	. Our class	160	I was very	254	. I do	99	. So ,	235	#JP# . I	103	. Our school
175	Our school festival	159	#JP# . But	228	. I think	98	I was very	229	. And I	101	Our school festival
174	. It 's	152	very #JP# .	218	. I usually	90	I will bring	224	. But ,	98	a lot of
173	very #JP# .	151	. So ,	212	the morning .	88	. And I	221	. If I	95	. I think
171	. I will	149	. It is	209	. Because I	88	. I think	216	do on .	94	. I was
161	. Our school	146	. It was	196	do n't have	87	. Because I	215	. I do	92	#JP# is
158	. I do	143	#JP# . So	195	I was very	87	our school festival	210	. I have	92	I will bring
154	and #JP# .	142	. I want	188	very much .	86	. I like	210	our school festiva	92	our school festival
145	. I usually	138	#JP# . #JP#	185	. It is	84	. Our school	208	school festival .	91	the morning .
143	do n't have	138	#JP# . He	179	I usually have	83	I did n't	204	. I will	89	. I do
142	. It is	137	do n't like	171	. I have	82	. I will	204	. So ,	88	do n't have
140	But I do	134	. Because I	158	#JP# . But	81	. I do	197	in the morning	87	#JP# . I
138	#JP# . Our	134	. I do	158	. It was	79	I ca n't	191	do n't have	86	. So ,
137	. I eat	130	Our class	158	. When I	77	the morning .	182	I will take	85	. I like
134	#JP# . It	128	do n't have	150	. I want	70	. If I	181	. It was	85	. I will
131	. #JP# I	127	. I usually	146	. He was	68	. So ,	177	. I want	84	. If I
129	morning . I	126	Urashima Taro	147	. If I	67	a big earthquake	170	a big earthquake	83	. I want
125	. I 'm	126	I usually have	147	. So ,	66	do n't have	168	. Because I	80	. And I
124	. I have	123	Our school	144	#JP# . So	65	, too .	167	, but I	78	. I have
120	. too .	122	. And I	139	I did n't	65	school festival ,	164	, too .	71	. I will
117	. I #JP#	122	. But ,	136	. One day	61	, so I	159	, so I	68	Urashima Taro
115	Urashima Taro	118	Our school festiva	134	a lot of	61	the school festiva	152	I think that	65	I could n't
112	. I want	117	. It 's	133	. And he	60	. I have	148	Our school festiva	63	. I usually
109	#JP# . So	115	Urashima Taro was	126	, too .	60	. I want	143	, and I	63	I usually have
108	is very #JP#	110	a lot of	125	. I 'm	59	#JP# . But	143	. Our school	63	very much .
107	I usually have	106	#JP# . It	125	. So he	58	I could n't	142	. I will	59	. He was
102	#JP# and #JP#	106	I ca n't	123	#JP# . He	58	and #JP# .	137	for breakfast .	59	. It 's
102	every day .	103	in #JP# .	120	and #JP# .	57	, I 'll	136	. For example	58	. Because I
101	. I love	102	morning . I	117	. It 's	57	. But ,	132	school festival is	58	. For example
98	. And I	100	. I 'm	114	dream . I	55	, but I	131	very much .	58	. I 'm
98	rice and #JP#	98	. I think	111	morning . I	55	. It is	127	. It 's	57	. When I
98	school festival is	97	it . I	109	and so on	54	#JP# . It	127	I was very	56	, do I
97	#JP# . He	97	very happy .	107	do n't like	54	I went to	126	. I 'm	56	I was very

(表2-1つづき)

95 #JP# is #JP#	95 I went to	106, I will	54 very much .	124 So , I	55 for me .
95 do n't like	95 was #JP# .	106 me . I	53, I was	121, I was	55 morning . I
88 #JP# in the	93, I have	104, so I	53, I will	118 For example ,	51, #JP# .
84 I like #JP#	92 #JP# and #JP#	102 breakfast . I	53, Urashima Taro	115 the morning .	50, And he
82 bread and milk	92 I #JP#	101 Then I	52 very happy .	112 there is a	50, One day
81 #JP# #JP# .	92 So I will	100 Our school fest	50 school festival was	109 He was	49 For example ,
81 much . I	92 first . I	98 But he	49 #JP# #JP# #JP#	109 I went to	46, But ,
78 will bring a	90, too .	98 Our class	49, and I	109 it . I	46, But he
75 #JP# . My	89 is very #JP#	96 do n't want	49, When I	108, I have	45, So he
75 It 'o very	87 One day	95 I could n't	48 #JP# . So	108, I think	45 I did n't
75 Urashima Taro was	86 #JP# I	95 so on .	48, I usually	108 I did n't	45 to go to
74, But he	86 He was	94, but I	47 there is a	108 When I was	44, but I
73 #JP# is very	86 had a #JP#	92 was #JP# .	46, I 'm	104 breakfast . I	44, However ,
73 I like rice	86 will bring a	91 do n't know	46 Our class had	103 will take out	44 Our class had
71, He was	85 #JP# in the	90 I went to	46 class had a	98 I have to	44 and #JP# .
70, But #JP#	85 I did n't	90 have breakfast	46 festival . I	98 in a big	43, I was
70, But ,	85 So , I	89 I always	45 #JP# and #JP#	96 I could n't	43, I would
70 So I save	85 and #JP# .	88 Urashima Taro	45 n't want to	95, I would	43 So , I
70 festival is very	84 Taro was very	88 n't want to	44, #JP# ,	94 I had a	43 school festival ,
69, I am	83 But I do	88 will bring my	44 I 'll take	93, I 'll	43 school festival was
68 Our class #JP#	83 rice and #JP#	87 Our school	44 It was very	93, I can	42 Urashima Taro was
67, #JP# .	80 I like it	87 So , I	44 Urashima Taro was	93 for me .	41 #JP# and #JP#
67 I ca n't	78 But he	86 Urashima Taro wa	44 do n't want	93 take out my	41, and I
67 I save #JP#	77 We were	86 is #JP# .	43, It 's	92 this year .	41, This is
66 I like bread	76 One day I	85 #JP# . And	42 I usually have	91 Our class	41 I think that
66 a lot of	73 #JP# . We	85 But ,	42 morning . I	91 do n't like	41 It was very
66 save #JP# to	72, I will	84 I 'll bring	41 I think that	90, #JP# ,	40, I have
66 very happy .	72 But we	84 One day I	40 If there	90 rice and #JP#	40 class had a
65 #JP# to buy	72 the #JP#	83 it . I	39, I think	89 I have a	40 do n't want
64 morning . But	71 and so on	82 #JP# in the	39, Then ,	88 I like rice	40 it . I

(注：冠詞の含まれた trigram を網掛けにしてある)

NICT JLE vs. JEFFL: n-gram を用いた

127

結果・品詞使用の発達

表2-2 Trigram における冠詞を含むパターンの出現推移 (NICT JLE)

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	Level 7	Level 8	Level 9	
Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.	Freq.	Seq.
64. #F# .	617. #F# .	424. #F# .	8362. #F# .	3750. #F# .	1868. #F# .	1157. #F# .	603. #F# .	382. #F# .	
21. #F# . #F#	305. #F# . #F#	1585. Yea .	3572. Yea .	1978. Yea .	1031. Yeah .	559. Yeah .	440. Yeah .	254. I do n't	
21. Yea .	192. Yea .	1538 #F# . #F#	2669. Yeah .	1372. Yeah .	674. Yea .	386. Yes .	264. you know ,	251. Yeah .	
19. #JP# .	180. #F# #F#	1385. #F# #F#	2603 #F# . #F#	1013 #F# . #F#	496. And #F#	363. I do n't	261. And #F#	230. #F# I	
13. #F# #JP#	90. Yeah .	930 #F# #F# #F#	2552. #F# #F#	998 #F# #SC# #F#	495. I do n't	310. And #F#	253. I do n't	198. Yea .	
11.Yea . #F#	89. #JP# .	623 #F# #SC# #F#	2324 #F# #SC# #F#	963. And #F#	451. O.K.	278. You know ,	242. Yea .	167. O.K.	
10. #F# #F#	84. Yes . #F#	823. Yeah .	1931 #F# #R# #F#	833. #F# #F#	380 #F# . #F#	252. O.K.	216. And #F#	163. And #F#	
9. #JP# . #F#	80. #F# #F# #F#	711. Yea . #F#	1871 #F# #F# #F#	740. Yea . #F#	351. you know ,	246. #F# I	188. #F# I	138. And I	
7. #F# . #JP#	64. #F# #R#	651 #F# #F# #R#	1623 Yeah . #F#	656 #F# #R# #F#	334 #F# #SC# #F#	230. So I	186. you know	134. #F# #F#	
5 #F# #F# .	61. #F# #F#	640 #F# #R# #F#	1555. And #F#	651. O.K.	324. #F# #F#	232 #F# . #F#	183. So I	134. So I	
5 #F# . Yeo	55. #F# . #R#	566. #F# #R#	1376. #F# I	609. #F# I	295. #F# I	212. #F# #F#	166. And I	104. #F# . #F#	
5 #JP# . #JP#	51. #F# #JP#	526. #F# I	1355 #F# #F# #R#	598. Thank you	285. Thank you	200. And I	157. #F# #F#	98. you know ,	
4 #F# #JP# .	49. #F# . Yeo	524 #F# . #R#	1131. #F# #R#	567. I do n't	280. So I	179. Thank you	150. #F# . #F#	97. do n't know	
4 #F# . .	49. #JP# . #F#	484 #F# #F# .	1045. Thank you	527 #F# #F# #F#	267. Yeah . #F#	161. you know	135. Thank you	88. And then	
4. #JP# #JP#	49. Yeah . #F#	448. Thank you	1043 I do n't	513. So ,	246. Yes . #F#	159 #F# . I	110. Yeah . #F#	83. It 'a	
4. Yea . Yeo	44. #F# #F# #R#	394 #F# #R# #R#	1007 Yeah . #F#	476. So I	245. So ,	158. It 'o	109. But #F#	61. Thank you	
3 #F# #JP# #F#	44. . #F#	393 #F# #R# I	1002 #F# #R# I	469. So #F#	241. But #F#	149. I have to	109 O.K. #F#	78. But #F#	
3 #F# . #R#	43. #F# . #JP#	375 Yeah . #F#	988. O.K.	424. Yeah . #F#	228 O.K. #F#	143. But #F#	106 #F# #SC# #F#	78. Yeo . #F#	
3 #JP# #F# .	43. No .	346 Thank you .	944 I want to	420 #F# #R# I	206. It 'o	143. do n't know	105 #F# it 'u	74. I think	
3. #F# #R# .	40. O.K.	341 #F# #F# #SC#	921 #F# #F# .	411. #F# #R#	200 #F# . I	141. Yeo . #F#	102. I 'm	70 #F# it 's	
3. #JP# #F#	40. Thank you .	328. And #F#	910 #F# . #R#	397 O.K. #F#	196. And I	140 Yeah . #F#	96. So #F#	70 Yeah . #F#	
3. Thank you	39. #F# Yeo .	326. #F# #SC#	879. So #F#	388 #F# #F# #R#	191. Yeah ,	138 O.K. #F#	96. do n't know	69. Mh-hmm .	
3. Yeah .	35. #F# #SC# #F#	324 #SC# #F# #R#	844 #SC# #F# #F#	361 Thank you .	189. I 'm	120. I 'm	95. Mh-hmm .	68. you know	
3 Thank you .	35. #F# . I	324 I do n't	816 Thank you .	371 I want to	185 I have to	116 Thank you .	94. It 'o	68 do n't have	
3 Yes . #JP#	35. #R# I	321 #SC# #F# #F#	805 #F# #R# #R#	371 very much .	184. #F# I	112 #F# #SC# #F#	89 Thank you .	67 a lot of	
3 old . #F#	35. Thank you	323 I want to	781 #SC# #F# #R#	360. But #F#	182 #F# #F# #F#	111. So ,	85 I have to	65. I 'm	
2 #F# #F# . #JP#	34. #F# #R# #F#	316. O.K.	780 #F# #F# #SC#	342 #F# . I	182 Thank you .	109. And ,	82. And then	65 O.K. #F#	
2 #F# #JP# #JP#	33. #F# Yeo	313. #SC# #F#	779 #F# #F# I	338. #F# #SC#	182 very much .	109. So #F#	81. #F# I	65 Thank you .	
2 #F# #R# #F#	32. #F# I	301 #F# #F# I	734 #F# . I	335 #F# #F# #SC#	181 #F# #R# #F#	107. Yes ,	80 Yeo . #F#	62. So #F#	
2 #F# . Saturday	30. #F# #R# #R#	293 #F# . #SC#	730 O.K. #F#	335. #F# I	173 #F# I 'm	106 #F# #F# .	76 #F# . I	61 O.K.	
2 #F# . This	29. I do n't	290 #R# #SC# #F#	713 #R# #F# I	333. #SC# #F#	173 do n't know	104. I think	74. And the	59 #F# I do	
2 #F# . Where	28. My name is	282 #F# . I	709. #F# #SC#	323 #SC# #F# #F#	171. Yes ,	101 #F# it 'o	73. it 'o	59. But I	
2 #F# . XXX03	28. name is XXX03	274. #R# I	655. #R# #F#	318. Yeo . Yes	168. So #F#	99 very much .	72 a lot of	57 #F# I think	
2 #JP# #JP# #F#	27. to XXX02 .	269 #F# . Yeo	652. #SC# #F#	312 #SC# #F# #SC#	164. #SC# #F#	97. But I	71 very much .	55 #F# #F# I	
2 #JP# #JP# .	26. #F# #F# #JP#	257 Yeo . Yeo	640 #R# #F# #F#	311 #F# #F# .	162. you know	96. And #SC#	70. I think	55 #F# I 'm	
2 #JP# No .	26. #F# . #SC#	256 #R# #F# I	633. So ,	310 I have to	155 you very much	95 #F# . Yes	69. And #SC#	55. Mm-hmm .	
2 #JP# Yeo .	25. #F# #SC#	255 #SC# #F# #SC#	622 #SC# #F# #SC#	308 #F# it 'o	153 #F# #F# .	95 I did n't	69 I did n't	50. And the	
2. #F# XXX05	25. My name	249 O.K. #F#	570 Yeo . Yeo	303 #SC# #F# #R#	150. and #F#	94 #F# #F# #F#	67. So ,	49. And we	
2. #JP# Yeo	24 #F# #F# I	245 #F# #R# #SC#	567 #F# . Yeo	302. It 'o	148 #F# #R# I	94. And #R#	67 O.K.	48. it 'o	
2. . #F#	24 #F# .	241 #R# #F# #F#	566. #F# #R#	297 #F# #F# I	148 #F# . Yes	89 #F# I 'm	66 #F# I 'm	48. too .	
2. Beat .	24 I go to	240 #R# #R# #F#	565 #F# . #SC#	296. #F# #R#	144. And #SC#	87 do n't have	65 you very much	48. So .	
2. Consulting .	24 Yeo . Yeo	240. #R# #F#	564 very much .	292 #F# . #R#	141. And ,	85. So .	64 #F# #F# I	47 I have to	
2. Do you	23 #R# #SC# #F#	225 #F# I like	557 #R# #SC# #F#	283. #R# #F#	140 Yeah . Yeah	85 you very much	61 #F# #F# #F#	46. I do	
2. Friend .	23. #JP# #JP#	221. #JP#	556. So I	277 you very much	139 #F# it 'o	84. And then	61. Yeo .	46. I do	
2. No .	23 I live in	213 #R# #F# #R#	554. And #R#	270. Uh-huh .	138 #SC# #F# I	82. #F# #SC#	60 #F# #R# I	45. #SC# #F#	
2. No .	23 O.K. #F#	208 to XXX02 .	540 #SC# #F# I	266 #F# I 'm	138 a lot of	82. #SC# #F#	60 I mean ,	45. O.K.	
2. Today .	23 Yeo . #F#	202. And #R#	531 #F# Yeo .	263 a lot of	137. And then	81. I do	59. #SC# #F#	45. Uh-huh .	
2 No . #F#	22 #F# #JP# .	201 #JP# . #F#	523. #F# I	262 to go to	134. I think	81. I do	59. But I	44 #F# #SC# #F#	
2 O.K. #F#	22 #F# . My	197 very much .	522. #F# #F#	259 #F# . Yes	133 #F# . #R#	80. #F# I	59. So .	44 I think it	
2 To .. #F#	22. #SC# #F#	184 name to XXX01	515 #F# #R# #SC#	258 #F# . So	130 do n't have	80 a lot of	59. That 'o	44 I think it	
2 Yes . My	22. And #F#	182 #F# Yeo .	512. #F# Yeo	255. And ,	127 Thank you very	80 to go to	59 it 's a	44 it 's a	

(表2-2つづき)

2 Yes . No	21 #P# #JP# #JP#	161 #SC# #P# I	503 #R# #P# #R#	252 And #R#	126 #P# #P# I	79 , and I	58 I went to	43 #P# I have
2 and #SC# #P#	21 #JP# . #JP#	175 you . #P#	499 #P# I 'm	252 . And I	125 #SC# #P# #SC#	78 Thank you ver	58 Thank you very	43 . #P# it
2 boy and girl	21 #R# #R# #R#	170 . #R# #R#	497 #R# #R# #P#	251 #R# #P# I	125 day last week	77 #P# . O	57 . #P# #SC#	42 . And #SC#
2 is XXX02 .	20 #JP# #JP# OJ	169 . No .	492 #P# I like	250 , #P# #P#	124 #P# . O	77 , yeah .	57 . I do	42 O K . O
2 my name is	20 . I 'm	167 #R# #R# I	485 . But #P#	245 I went to	123 . But I	76 , so I	57 I could n't	41 I can 't
2 name is XXX02	20 thank you .	167 I went to	471 #P# . And	245 Thank you ver	123 it 's very	76 I could n't	57 is XXX02 .	40 . And it
2 system . #P#	19 #P# #R# #SC#	165 #P# I 'm	457 to go to	242 . #P# #SC#	122 there is a	75 . That 's	56 . So it	39 it 's really
2 train . #P#	19 #SC# #P# #R#	164 #P# . And	451 #P# I have	242 . I 'm	122 to go to	75 it 's a	56 . Yeah .	39 to go to
2 years old .	19 . #JP# #P#	161 . #P# #R#	451 I went to	241 . And #SC#	121 , #P# #SC#	74 #P# yeah .	56 to go to	38 , #P# I
1 #P# #P# #P#	19 . #R# #P#	159 you very muc	446 #R# #P# #SC#	241 . So #R#	121 . #P# #R#	74 , it 's	55 . And also	38 , I guess
1 #P# #P# #R#	19 . #R# #R#	157 #P# #JP# #P#	446 in XXX02 .	241 . You .	121 I went to	74 I went to	54 #P# yeah .	37 #P# . I
1 #P# #P# Going	19 I 'm fine	157 #R# #P# #SC#	443 . And #SC#	240 #SC# #P# I	119 I ca n't	73 Uh-huh .	54 . O K	37 . So ,
1 #P# #P# Hic	19 movie . #P#	155 I live in	418 #P# it 's	238 #R# #SC# #P#	118 #CC# #P# #R#	72 And the	53 #P# I think	36 I could n't
1 #P# #P# XXX05	18 #P# #JP# #R#	154 #P# #P# #JP#	409 #P# I want	231 #P# #R# #R#	117 . That 's	72 . Yeah .	52 . and #P#	36 I did n't
1 #P# #P# my	18 #JP# #P#	154 #R# #R# #R#	405 . Yes .	228 #P# you .	116 , #R# I	72 I ca n't	52 day last week	36 I have a
1 #P# #P# one	18 #SC# #P# #P#	153 . #P# you	396 you very muc	224 #R# #P# #P#	116 . Uh-huh .	72 I think .	51 do n't have	36 I used to
1 #P# #JP# #R#	18 I want to	153 . . #P#	392 Yeah . Yeah	223 there is a .	114 , #P# #R#	71 Mh-hum .	50 #SC# #P# I	36 think it 's
1 #P# #JP# Americ	18 Yes . I	147 My name is	390 #R# #R# I	216 , and #P#	114 , it 's	71 is XXX02 .	50 . And #R#	35 . That 's
1 #P# #JP# Good	17 #P# #JP# #P#	145 Thank you ve	384 you . #P#	216 . #P# you	114 . And #R#	70 I have a	50 . Mh-hum .	35 day last week
1 #P# #JP# I	17 #P# #R# I	142 you . #P#	383 . It 's	216 in XXX02 .	113 #R# #P# I	70 day last week	50 . Uh-huh .	35 when I was
1 #P# #JP# O	17 #P# . No	141 . #P# #JP#	382 , #P# #SC#	215 #P# . And	113 . So .	68 #P# #R# I	50 I think it	34 . #P# #SC#
1 #P# #JP# School	17 #P# I like	141 . I like	381 name is XXX02	211 #P# #R# #SC#	112 #P# . Yeah	67 #P# I do	49 . #P# it	34 . #P# and

(注：冠詞の含まれた trigram を網掛けにしてある)

に脱落エラーが顕著であるため n -gram にも冠詞の連鎖が全般に少ない。

5. 結果(2)：品詞 n -gram

5.1 NICT JLE の全体傾向

表3 および図5は NICT JLE Corpus における品詞連鎖の推移を上位100の trigram パターンをアルファベット順にソートして、同一品詞で始める系列をまとめたものである。

表3 レベル別の trigram に現れる品詞パターン (NICT JLE)

NICT JLE	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	Level 7	Level 8	Level 9
#F#	34	27	24	25	22	15	9	8	6
AT	0	2	2	5	8	9	11	9	10
ADJ	2	3	2	3	3	5	5	6	6
NOUN	7	6	10	6	4	5	4	4	6
PRON	0	5	7	6	8	10	12	12	14
VERB	2	6	6	5	8	8	11	9	10

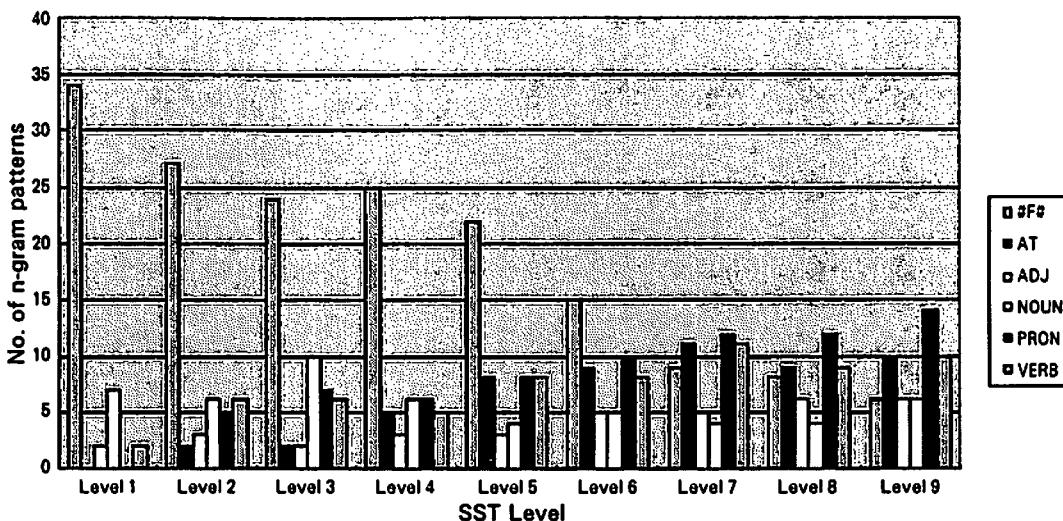


図5 レベル別の trigram に現れる品詞パターン (NICT JLE)

レベル1から9にわたる変化でいくつか顕著なものをあげると、まず最も特徴的なのが、filler (#F#) で始まる連鎖の急激な減少である。これは前述の言いよどみ (dysfluency) 現象が解消されていくことを示している。次にコンスタントに増加している項目として、冠詞、形容詞、代名詞、動詞を含む連鎖が挙げら

れる。学習者言語では一般的に冠詞の脱落が顕著だが、上級になるほど冠詞の補充が的確になされてくる。もっともこれは冠詞の補充が出来ている、ということであって、正しい使用法かどうかはまた別問題である。形容詞は修飾関係のパターンの複雑化と関係があり、形容詞の増加は文（特に名詞句）の構造の複雑化を示しているといえる。代名詞で始まるパターンの複雑化も代名詞に続く助動詞などの連鎖の多様化と関係している。

5.2 JEFLL の全体傾向

表4および図6はJEFLL Corpusにおける品詞連鎖の推移を上位100のtrigramパターンをアルファベット順にソートして、同一品詞で始める系列をまとめたものである。

表4 レベル別のtrigramに現れる品詞パターン（JEFLL）

EFLL	J1	J2	J3	S1	S2	S3
#JP#	14	6	3	1	1	0
AT	5	7	7	9	9	12
ADJ	5	5	4	5	5	5
NOUN	20	18	15	23	23	21
PRON	8	12	12	11	9	9
VERB	13	12	11	12	9	12

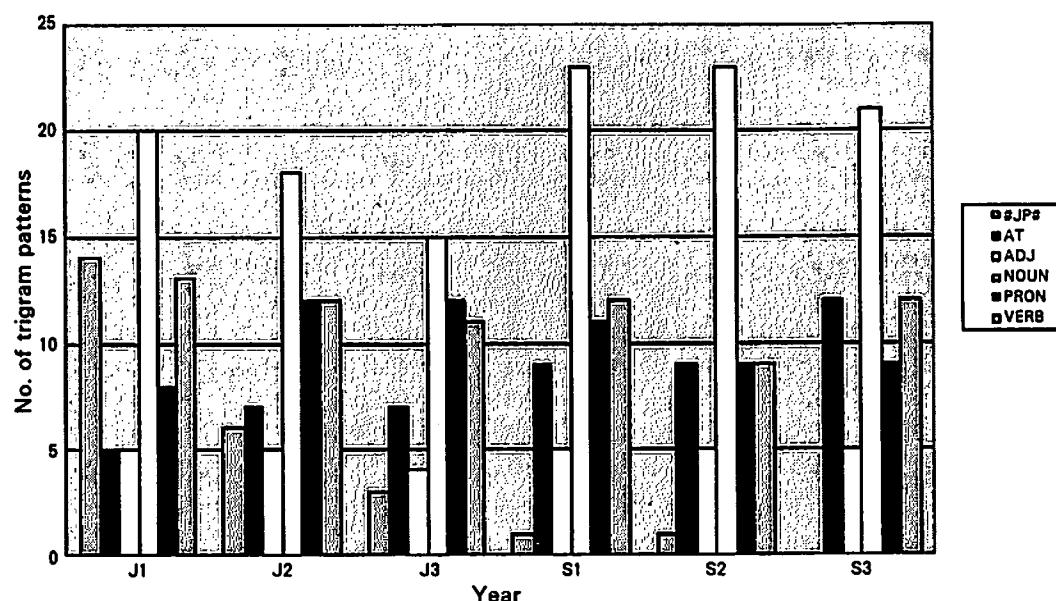


図6 レベル別のtrigramに現れる品詞パターン（JEFLL）

#JP# は日本語が含まれた部分を一括置換した #JP# でスタートした連鎖が示されており、それが中学～高校と行くにしたがってパターンが減少していることがわかる。全般的な傾向として、学年を追って連鎖パターンの数が増加していくものとしては冠詞、名詞で、それぞれ始まる連鎖が顕著な増加傾向を示している。さらに代名詞のパターンは名詞のパターンが増加するのと反比例して減少していく。この部分は学年が上がるに連れて、会話調の文体から、より書き言葉らしい代名詞を抑えて名詞の連鎖を活用して表現するような傾向が出てきているといえよう。NICT JLE に比べると、全体的に学年の初めからある程度安定した連鎖が出現しており、やはり話し言葉のモードとは異なり、自分のパフォーマンスを客観的にモニターできるような情報処理的な余裕があるから、このような安定した使用が可能になるのではないかと推察される。

6. 考察

話し言葉と書き言葉の 2 つの異なるモードの学習者英語をレベル別に比較してみるという新しい試みはいろいろな可能性を秘めている。母語話者コーパスにおける比較においても、話し言葉は書き言葉とかなり異なる独自の傾向を示す。例えば、British National Corpus における最も頻度の高い単語 10 個程度を比較しても、書き言葉ではこの 10 位の中に前置詞が 3 つ (of, to, in) 入っているのに対して、話し言葉では前置詞は 1 つだけ (to のみ) になってしまう。これは書き言葉でいかに前置詞句を多用するかを表している。さらに代名詞にも特筆すべき変化がある。書き言葉では it と he が 10 位以内に入っているが、話し言葉では he は脱落し、代わりに I, you が加わる。これも、話し言葉では対話する話者同士 (I, you) と話題になっているもの (it) の関係で会話が進み、書き言葉では詳細に述べる必要のある名詞関係の表現が会話では両者の暗黙の合意の下、代名詞で省略されてしまうといった「会話の文法」が見え隠れする。

こういった特徴をとらえておくと、学習者コーパスの比較においても、一般的な「話し言葉 vs. 書き言葉」という次元でとらえるべき現象と、学習者の文法獲得上の変化と捉えるべき現象を注意深く見極めることが可能になる。

JEFL Corpus と NICT JLE Corpus の品詞タグ連鎖の分布を比較してみると、この産出モードの違いによる言語使用の差異が観察できる。話し言葉と書き言葉では即時性が異なるので、脳内で言語処理をする時間的余裕がある書き言葉データの方が、冠詞、形容詞、動詞といった項目のパターンのヴァリエーションが比較的初期の段階から発現している。これに対して、話し言葉ではそういう表現のヴァリエーションを使う言語処理上の時間的余裕がないために、英語力の低い学習者では特にレパートリーがせまい定型句を多用する傾向があり、それが上級に行くにしたがって、脳内処理が自動化 (automatization) するのと並行してレパートリーも増加していくのが顕著に見受けられる。つま

り、産出モードによる言語の自動化の度合いとの関連で、産出できる言語表現が規制されるという現象が話し言葉では顕著に見られるのである。

もう1つ興味深いのは、冠詞の補充に見られるような現象である。冠詞に関しては、両者のコーパスともレベルが上がると冠詞を含むパターンが増加する傾向を示した。これは話し言葉、書き言葉というモードの影響よりも、言語内の冠詞の習得度レベルが直接パフォーマンスに反映していることを示唆している。そういった意味で、モードの影響を比較的受けにくい項目であるといえる。こういったことがある程度わかってくると、話し言葉、書き言葉といったモードの違いに注目して観察すべき言語特徴と、それらに共通に観察すべき項目を選別することが可能になってくる。今後の研究が待たれる領域である。

その他の項目でも、NICT JLE Corpus に見られるレベルが上がるに連れて上昇する代名詞の使用などは、より母語話者の会話モードの特徴に近づく様子を表しており興味深い。これらの言語特徴の観察を十分に行いつつ、将来はレベルの変化を説明できる言語特徴の選定や重み付け、それらが話し言葉、書き言葉といった産出モードとどういう相関にあるかなどを、習得モデルとの関連で説明していくけるような説得力のある言語モデル構築を目指していく必要がある。

7. まとめ

本稿では2つの英語学習者コーパス、NICT JLE Corpus と JEFLL Corpus の全体的な比較を単語・品詞 n-gram 統計をもとに行った。話し言葉と書き言葉という産出モードの違いを比較するには、厳密には同一タスクで同一被験者の行う言語使用データを採取する必要がある。しかし、大量データによる今回のようないくつかの研究は、その予備的な観察として多くの示唆を得ることができ、また重要な観察すべき語彙・文法特徴を選定するためにも意義があると言えよう。

今後は、各レベルの品詞付きデータから機械学習による確率的言語モデルや n-gram モデルの構築が可能か、その後レベル別モデルの推移を説明すべき因子を統計的に抽出可能か、といった点が言語処理的には興味あるテーマと言えよう。また、このような記述的な習得モデルと合致した習得理論として、たとえば Nick Ellis らの提唱する Associative-Cognitive CREED などの認知言語学や emergentism の理論との融合、また Rens Bod らの Data Oriented Parsing の考え方を LFG の枠組みに組み込んだプロセスモデルとの融合など、学習者データをコンピューター処理する際に親和性の高い「説明モデル」を構築していくことも重要な課題となろう。

それらの基礎となるコーパス・データの整備充実はいうまでもない。JEFLL Corpus が研究用に公開された今、ますますいろいろな記述研究がなされ、データの補充もされていき、日本人英語学習者の習得の全体像が浮き彫りにされる

日が来ることを願ってやまない。

注

* 本稿は、第29回大会シンポジウム「英語学習者コーパスの新展開」において、口頭発表したものに加筆修正したものである。本稿をまとめるに当たり、編集事務局および匿名論文査読者から非常に有益なご指摘とご意見を賜り、重ねて感謝を申し上げる次第である。

1. N-gram 統計の処理は元明海大学大学院修士課程の上村崇氏が担当した。
ここに謝意を表したい。
2. 小学館コーパス・ネットワークの無料コンテンツとして公開
(http://scn02.corpora.jp/~jefll03/jefll_top.html)
3. JEFLL 研究用サイト (<http://jefll.corpuscobo.net/>) を参照

参考文献

- Tono, Y. (2000). "A computer learner corpus-based analysis of the acquisition order of English grammatical morphemes." Burnard, L. and T. McEnery, (eds.) *Rethinking Language Pedagogy from a Corpus Perspective: Papers from the third international conference on Teaching and Language Corpora*. Frankfurt am Main: Peter Lang, pp. 123-132.
- 朝尾幸次郎 (2000)『第二言語習得研究のための英語学習者コーパスの構築とその利用』平成9年度～平成11年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（1））研究課題番号 09558018 研究成果報告書, pp. i-iiiv, 1-120.
- 和泉絵美・井佐原均・内元清貴（編著）(2004)『日本人1200人の英語スピーキング・コーパス』アルク.
- 太田 洋 (2007)「Lexical collocation の発達」投野 (編著) (2007), pp. 20-32.
- 投野由紀夫 (編著) (2007)『日本人中高生一万人の英語コーパス：JEFLL Corpus』小学館.

(投野由紀夫 東京外国語大学 E-mail: y.tono@tufs.ac.jp)